

Japan  
Food  
Research  
Laboratories

# 試験報告書

第 199021495-003 号

依頼者

検体 サーフケラムカルシウムパウダー

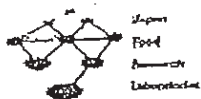
試験項目 農薬除去効果試験

平成 11 年 02 月 15 日 当センターに提出された  
上記検体について試験した結果は次のとおりです。

平成 11 年 03 月 31 日

検査人  
日本食品分析センター

東京本部 〒157-0062 東京都渋谷区五反田2丁目52番1号  
大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号  
名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号  
九州支所 〒812-0037 福岡市博多区下丸腰町1番12号  
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市氷川1丁目11番10号



## 農薬除去効果試験

### 1 依頼者

### 2 検 体

サーフクラムカルシウムパウダー

なお、試験に用いたチンゲン菜[サブロール乳剤(成分トリホリン)1,000倍液を散布したものの]は依頼者から提供された。

### 3 試験目的

検体希釈液にチンゲン菜を浸漬し、農薬残留量を測定して、検体の農薬除去効果を調べる。

### 4 試験概要

検体2 gを水道水2,000 mlに加え、2分間かくはんして調製したものを試験区(1,000倍希釈液)とした。また、水道水2,000 mlを対照区とした。試験区及び対照区に依頼者提供のチンゲン菜約90 gを浸漬し、5分間かくはんした後、5分間放置した。放置後、チンゲン菜を取り出し、ガスクロマトグラフ法によりトリホリン濃度を測定した。

なお、無処理のチンゲン菜についてもトリホリン濃度を測定した。

### 5 試験結果

結果を表-1に示した。

表-1 試験結果

対象作物	対象農薬	区分	
		試験区(1,000倍希釈液)	測定値
チンゲン菜	トリホリン	対照区	0.49 ppm
		無処理	0.71 ppm
			0.84 ppm

以 上